

**NPO法人
すぎなみ環境ネットワークだより**

環境活動推進センター 9:00~17:00 (休館: 年末年始)
リサイクルひろば高井戸 (休館: 水、年末年始)
(1階 9:00~17:00 2階 エコマーケット 10:00~16:00)

発行元: NPO 法人すぎなみ環境ネットワーク
URL <http://www.ecosuginet.jp/>
事務局: 〒168-0072 杉並区高井戸東 3-7-4
杉並区立環境活動推進センター内 4 階
Tel: 03-5941-8701・Fax: 03-3331-5212
e-mail: info@ecosuginet.jp
営業時間: 9:00~17:00 休館日: 年末年始

第 21 回 かんきょう アイデア展

すぎなみ環境ネットワーク主催「かんきょうアイデア展」は、21 回目を迎えました。
資源を有効利用した手作り作品や環境、自然に関するレポートを通して、生活環境や
広く地球環境について考えることを目的に開催しています。
会場の杉並区立環境活動推進センターに全応募作品を展示しました。
「リサイクル作品」「レポート」「自然の恵み」の 3 部門で、応募作品数は 146 点、
134 名の応募者の中から、10 名の方が受賞されました。賞の選定は、当法人の会員
の投票及び来場者のご意見を参考に、普及啓発委員会で検討したものです。

……各部門の内容……

☆リサイクル作品部門

使わなくなったものを手作りで素敵に生き返らせてみましょう。
材料はいらなくなったもの。表現方法は自由。

☆レポート部門

環境を守るために役立つアイデア・活動例・研究など。
表現方法は自由。用紙は模造紙 1 枚程度。

☆自然の恵み部門

緑のカーテン・打ち水・雨水利用など、自然の恵みを生かした取り組みを
写真や文章で紹介したもの。用紙は模造紙 1 枚程度。

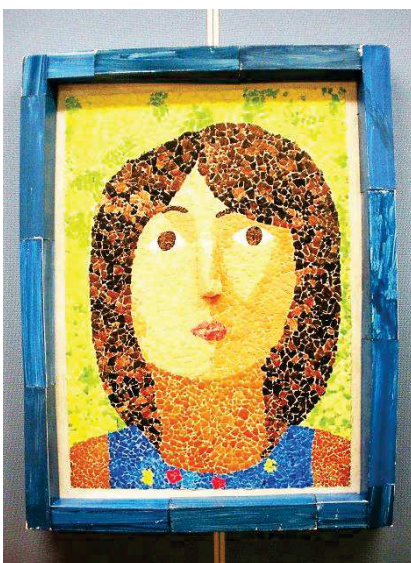
第21回 かんきょうアイデア展 入賞作品

(敬称略)

- ★ 区長賞 「自画像」…①
リサイクル作品部門 中村 有里 (済美小学校2年)
- ★ 教育長賞 「真夏日 服装大研究」…②
レポート部門 窪谷 まひろ (杉並第十小学校3年)
- ★ 理事長賞 「おやジカとこジカ」…③
自然の恵み部門 萩原 麻理子 (杉並第九小学校2年)
- ★ 開けて楽しい玉手箱で賞 「いおぎ小 とりずかん」…④
リサイクル作品部門 山崎 璃子 (井荻小学校1年)
- ★ いい色合いで賞 「えぼしカメレオン」…⑤
リサイクル作品部門 近藤 結仁 (高井戸小学校2年)
- ★ 何から生まれた虫で賞 「リサイクルの虫たち」…⑥
リサイクル作品部門 弓削 優斗 (高井戸第三小学校3年)
- ★ 高山植物の生きぬく姿に感動したで賞 「秋田駒ヶ岳の高山植物観察」…⑦
自然の恵み部門 柿崎 香凜 (高井戸第三小学校6年)
- ★ 毎日の川調べ大変だったで賞 「ぜん福寺川の晴れの日と雨の日の水しつのちがい」…⑧
レポート部門 山地 真央 (方南小学校4年)
- ★ アートの大変身したで賞 「トイレットペーパーの芯を使ってリサイクルアート」…⑨
レポート部門 渡部 羽琉 (天沼小学校4年)
- ★ ずいぶん探したで賞 「陶片・ビーチグラスから見た歴史と浜辺の環境」…⑩
レポート部門 松下 夏樹 (久我山小学校6年)

※ 各賞の写真は、①～⑩ をご参照ください。

☆ 入賞作品 ☆



① 区長賞
「自画像」
中村 有里

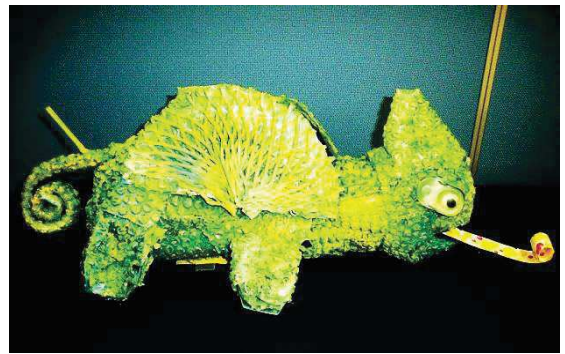


② 教育長賞
「真夏日 服装大研究」
窪谷 まひろ

③ 理事長賞
「おやジカとこジカ」
萩原 麻理子



④ 開けて楽しい玉手箱で賞
「いおぎ小 とりずかん」
山崎 璃子



⑤ いい色合いで賞
「えぼしカメレオン」
近藤 結仁



⑥ 何から生まれた虫で賞
「リサイクルの虫たち」
弓削 優斗



⑦ 高山植物の生きぬく姿に感動したで賞
「秋田駒ヶ岳の高山植物観察」
柿崎 香凜

………会場のアンケートから………

★環境に興味がある子どもがもっと増えたら嬉しい。

★子ども達のアイデアに脱帽ですね。これからもこの気持ちを
持ち続けてほしい。

★創意工夫あふれる作品ばかりで、これを小学生が作ったのか
と驚きました。とても楽しませていただいた。

★力作ぞろいで感心しました。現在の地球の状態を良く考えて
いますね。

★一生けんめいエコに取り組んでいる姿に、私もエコ意識を向
上させたいと思いました。子ども達は楽しみながら、しっかりと
学んでいることがにじみ出ている作品が多かったです。

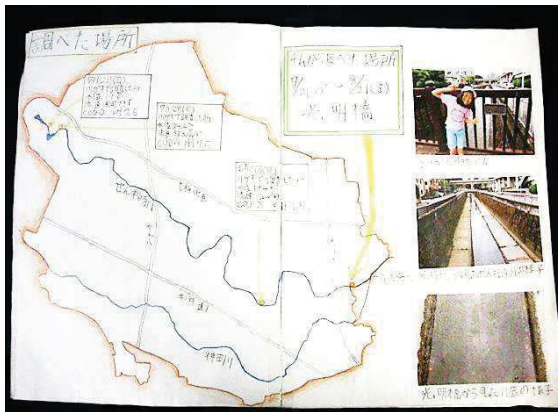
★私には思いつかないアイデアに満ちた作品ばかりで、大変お
もしろかった。刺激を受けました。

★それぞれの個性と調査や作品を通しての熱意を感じました。

★どのアイデアも素晴らしくて感心。見習うべき点が沢山あり
ました。

☆第21回☆

かんきょう
アイデア展



⑧ 毎日の川調べ大変だったで賞
「ぜん福寺川の晴れの日と
雨の日の水しつのちがい」
山地 真央



⑨ アートに大変身したで賞
「トイレトペーパーの芯を使って
リサイクルアート」
渡部 羽琉

☆第21回☆

かんきょう アイデア展



⑩ ずいぶん探したで賞
「陶片・ピーチグラスから見た
歴史と浜辺の環境」
松下 夏樹

…………… かんきょうアイデア展 選考委員会から ……………

リサイクル部門には、普段よりゆったりした時が流れる夏休みに、不用品相手に ものづくり を楽しんだワクワク感が伝わってくる作品が多数寄せられました。親子で作品づくりに取り組んでいる姿が目に見え、ほほえましい限りです。完成した作品を使ったり、飾ったり、遊んだりする楽しさだけではなく、家族の絆づくりにも役立ったのではないのでしょうか。

レポート部門は、内容が年々レベルアップしています。インターネットや図書、施設見学で得た情報

の書き写しに終わらず、実験や調査、体験を通して学んだことを、毎日の生活の中に取り入れているところが大人顔まけです。テーマも様々で調べていくうちに環境問題に行きついたというレポートがいくつもあり、嬉しいことです。

自然の恵み部門は、定番のゴーヤや緑のカーテンの応募はなく、思いおもいのテーマの 8 作品が集まりました。自然の恵みを身近に感じ、その自然を大切に思う心が伝わってきました。